



取扱説明書



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。お読みになった後も必ず保存してください。

機種名

MH401B

マメトラmini ハンマーナイフモーター



マメトラ農機株式会社

はじめに

マメトラminiハンマーナイフモアーMH401B
をお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書は、「マメトラminiハンマーナイフモアーMH401B」の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。

この説明書は、必要なときにいつでも取り出して読むことができるように一定の場所に保管してください。

この製品を貸与される場合は、この説明書を添えてお渡してください。取り扱い説明書を紛失、汚損された場合は当社又は、当社の特約店に連絡してください。

なお、品質の向上、性能の向上あるいは安全性の向上等を図るために、製品の一部または使用部品を変更することがあります。その際には、この説明書の内容、写真並びにイラスト等の一部が製品と一致しない場合がありますのでご了承ください。

ご不明のことやお気付きの点がございましたら、お買い上げいただきましたお近くの当社営業所又は販売店にご相談ください。

本書に記載した注意事項や機械に貼られた▲の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、警告ラベルが汚損したりはがれた場合は、お買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

◆注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。



危険

その警告文に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。



警告

その警告文に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものを示します。

サービスと保障について

☆保証書について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

☆アフターサービスについて

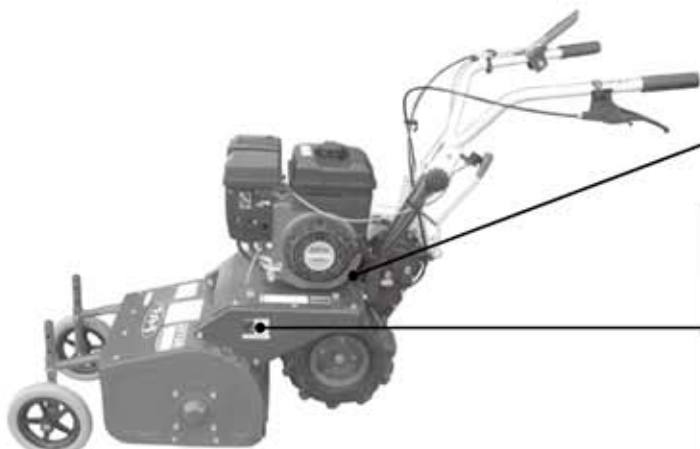
機械の調子が悪いときに点検、処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、お近くの当社営業所までご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- 型式名・区分
- 機体番号・エンジンの場合エンジン番号
- 故障内容(できるだけ詳しく)

☆補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、納期及び価格についてご相談させていただきます。



エンジン打刻番号 GB130-000001

農業機械の種類	草刈機(歩行型)
型式名	マメトラMH401B
区分	
エンジン型式名	GB130 LN-405
機体番号	120001

マメトラ農機株式会社

☆取扱説明書について

本機取扱説明書を紛失・破損した場合は、コード No. H11 9002 001 でご注文ください。

目 次

はじめに	I
サービスと保証について	II
保証書について	II
アフターサービスについて	II
補修部品の供給年限について	II
取扱説明書について	II
目 次	1
1 安全作業のための心得	2
2 安全マーク貼付位置	6
3 各部の名称とはたらき	8
4 運転開始前の準備と注意	10
5 さあ、運転開始です	13
5-1 エンジンの始動のしかた	13
5-2 発進のしかた	16
5-3 変速のしかた	17
5-4 旋回のしかた	18
5-5 駐・停車のしかた	19
5-6 トラック等への積み込みと積み降ろしのしかた	20
5-7 エンジンの停止のしかた	21
6 ハンマーローター	22
6-1 ハンマーローターの構成	22
6-2 ハンマーローターの始動のしかた	24
7 作業が終わったら、必ず手入れを	25
7-1 作業したらそのたび手入れを	25
7-2 定期点検と整備	25
(1) エンジンオイルの点検・補給	26
(2) エンジンオイルの交換	26
(3) ミッションオイルの交換	27
(4) エアクリーナの手入れ	28
(5) ストレーナの手入れ	28
(6) 点火プラグの調節と交換	29
(7) レバー類の作動の点検と調整	30
(7-1) 走行クラッチレバーの調整	30
(7-2)刈取クラッチレバーの調整	32
(7-3) ハンドルの高さの調整	33
(8) 冷却風吸気口の掃除	33
(9) ハンマーナイフの交換	34
(10) 注油とグリースアップ	35
8 長時間使用しないときの格納のしかた	36
9 機械が不調の場合の対策	38
10 消耗部品一覧	41
11 オプション部品	42
12 機械の特長と仕様	43
12-1 本機の特長	43
12-2 本機の仕様	44

1 安全作業のための心得

■ 本機を使用するにあたって

使用する人の条件

次のような項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき
- 妊娠しているとき
- 子供の方
- 取扱方法を熟知していない人



使用する人の服装

機械に巻き込まれる事故を予防するため、はち巻き・首巻き・腰タオルをしないでください。また、滑って転倒する事故を予防するため、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、作業に適した、だぶつきの無い服装をしてください。



服装や体の調子に注意

機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。



機械の改造厳禁

純正部品や指定以外の部品を取付けしないでください。また、機械を改造しないでください。



■ 点検整備をしてください

1年毎に定期点検整備を

機械の整備不良による不具合や事故を予防するために、1年毎に定期点検・整備を受け各部の保守をしてください。特に燃料パイプや電気配線は、2年毎に交換して、機械が最良の状態に、安全に作業ができるようにしましょう。



点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備をおこなってください。特に、クラッチ・レバーなどの操縦装置は、確実に作動するように点検・整備してください。



■ 点検整備をしてください

点検・整備・掃除をするときは

点検・整備、または掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり動いたりしない平坦で安定した場所を選び、エンジンを止めてください。また、誤ってエンジンが始動することのないよう燃料コックを【閉】にし、完全な停止状態で過熱部分が十分に冷めていることを確認してからおこなってください。



排気ガスには十分に注意

屋内などでエンジンを始動する場合、排気ガスによる中毒のおそれがあります。エンジンの始動は、風通しのよい場所でおこなうようにし、十分に換気をおこなってください。



カバー類は必ず取付ける

ベルトカバーなどの防護装置を取外す場合は、必ずエンジンを止め、完全な停止状態を確認してからおこなってください。また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。



給油・注油するときは

エンジン回転中やエンジンが熱い間は、火傷や火災の危険がありますので絶対に給油・注油をしないでください。また、給油中はタバコや裸火照明などの火気は厳禁です。



長期格納するときは

火災などを予防すると共に、燃料の変質による不具合を防止するために、燃料タンク・気化器内の燃料を抜き出して保管してください。



人や動物を近づけない

移動または作業中には特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

エンジンの始動や発進するときには

クラッチを【切】り、変速レバーを【中立】にし、周囲の人に合図してからエンジンを始動してください。周囲の人に危害を加えたり転倒や衝突したりしないように周囲の安全を確かめ、急発進ないように徐々に発進してください。

1 安全作業のための心得

■ 作業・移動をするとき

二人以上で作業をするときには

二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。



回転している刃には十分気をつけて

回転する刃に巻き込まれると重傷を負うことがあります。



ベルトを交換したり、爪を交換するとき、巻き付いた草などを取除くときは

必ずエンジンを止めてからおこなってください。



機械から離れるときには

機械から離れるときには、平坦で安定した場所におき、エンジンを止め、各部が完全な停止状態になっていることを確認してください。やむを得ず傾斜地に置くときは、駐車ブレーキを掛け必ず車止めをしてください。



ハンマーローター作業の飛び出し（ダッシング）に注意

回転する刃の勢いで機械が思わぬ方向に飛び出す（ダッシング）ことがありますので十分に注意してください。特に、川や崖、人のいる方向に飛び出す（ダッシング）と、転落や人身事故を招くおそれがあります。



後進しながら作業するときは

転倒しないように足元に十分に注意し、後方に障害物がないか確認して後方の障害物と本機との間に挟まれないようにしてください。特に、ハウス内では、壁や支柱との間に挟まれたりすることの無いようにしてください。

後進作業は
足元に注意して!



■作業・移動をするとき

移動するときは

坂道・凸凹の激しい道・曲がり角・そばに溝がある道・路肩の弱い道などでは、スピードを落とし、最も安全に通行できる場所を選んで通ってください。

また、焚き火や排ワラを燃やしている近くは走行しないでください。事故や火災の原因となります。



急な発進・停止・旋回、スピードの出しすぎ禁止

スピードを出しすぎたり、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますのでおこなわないでください。



わき見運転・片手運転禁止

ハンドルやクラッチは正しく操作し、わき見や片手での運転はしないでください。



坂道では

坂道では、機械が思わぬ方向に旋回してしまうことがありますので、十分注意して運転してください。

坂道での方向転換は
ハンドルを振ってネ



溝や畦を横断したり、軟弱な場所を通るときには

スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あり、表面がすべらないように処理してあるアユミ板をかけ、最低速度で運転してください。

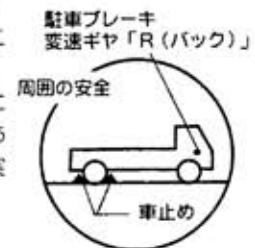
もし、落ち込んだ場合には、無理に脱出しようとせず、先ず状況判断して適切な処置を講じてください。



トラックなどに積込み・積降ろしするときは

平坦で交通の安全な場所で、トラックなどが移動しないようにエンジンを止め、サイドブレーキをかけ車止めをし、幅・長さ・強度が十分あり、表面がすべらないように処理してあるアユミ板をかけ、最低速度でおこなってください。

また、登るときには前進、降りるときには後進でおこなってください。さらに、積込んだときには、本機に車止めをし、十分に強度あるロープでトラックに確実に固定してください。



2 安全マーク貼付位置

耕うん・管理機 + 安全五憲章

1. 道路走行・圃場の出入り・車への積降ろしの際は必ずロータリの回転を止めます。
2. 圃場を走行するときは、スピードを落とし熟慮に注意します。
3. 圃場の出入り・車への積降ろしは上りは前進、下りは後進で行います。
4. バックをするときはスピードをゆるめ背後の障害物に注意します。
5. 機体の点検・調整・整備は必ずエンジンを止めてから行います。この機械をお使いになるときは復唱してください。

8MA 0009 000



注意

エアクリーナーの取り扱い

常に汚れを点検してください。エレメントが目詰まりしますとチョーク状態になり燃料消費が多くなったり、パワーが弱くなりエンジントラブルの原因になりますので、汚れがひどくなったら早めに交換してください。

8MA 0505 000

⚠️エンジン始動時の注意

エンジンを始動する時は

- 主クラッチレバーを必ず「切」にすること。
- 刈取クラッチレバーを必ず「切」にすること。

8MA 0163 000

ハンマー作業の注意事項

1. ハンマー作業はロータリ回転数が早い為、常に石やビンが飛んだものが飛びますから人を避けて下さい。
2. 高さの調節は刃の先端より地上立ち上り⇒以上になる様に前輪の調節をして下さい。
3. 作業中ハンマーアームの回転数が下がり空すと音が響き付きますから、エンジンの回転数が急激に下がった時は所定のサイドブレーキ又は先行ブレーキを切ってドラムのみを回転させてロータリ部の草をほき出して下さい。
4. ハンマーアームの片側の刃の切れ味が悪くなった場合は片刃付のヘッドをはずし、刃を向き替えますと反対側の新しい刃が使用できます。
5. ロータリに巻き付いた草やゴミ等を除去するため前部を持ち上げる場合はエンジンを停止し、機体の安定を保つためロータリ部に支え物や車輪の回り止め等を行って下さい。




G57 1426 000

⚠ 足下危険

- 運転中はカバーの下に手や足を入れないこと。
- 刈り刃の点検や交換はエンジンを止めて行うこと。

8MA 0517 001



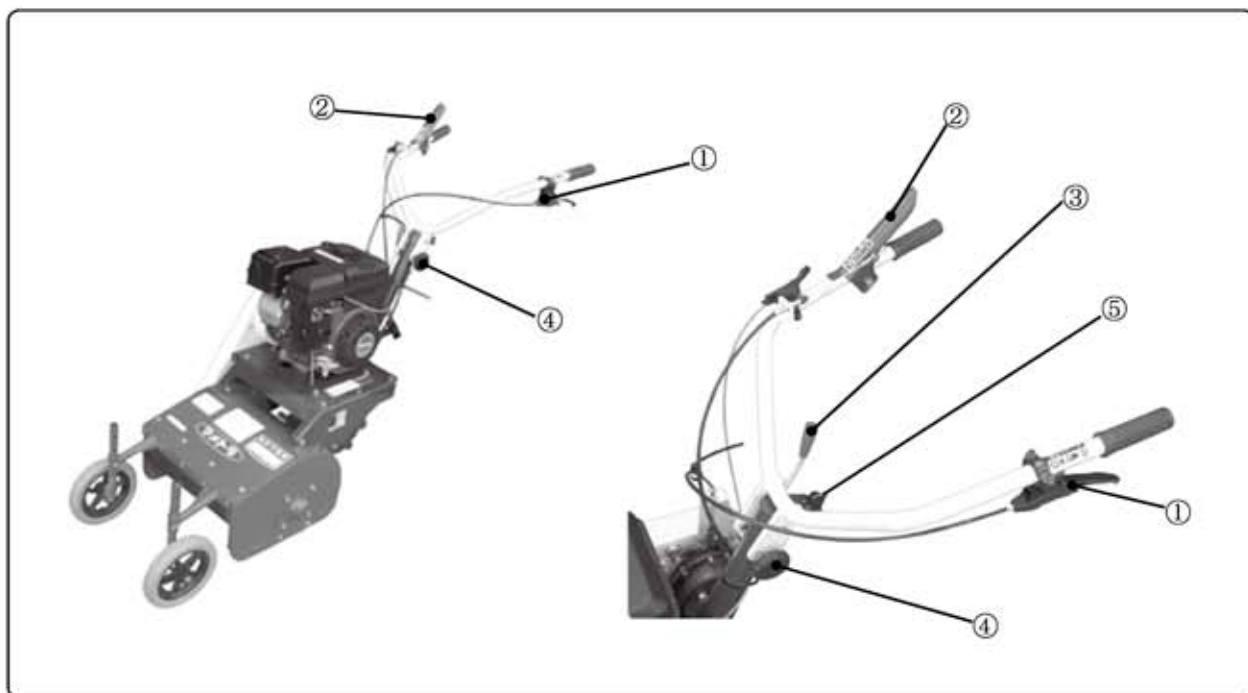
⚠ 注意	⚠ 警告	⚠ 危険
マフラー高温注意	排ガスに注意	火気厳禁
 さわるやけどをするおそれがあります。	 室内や換気の悪い所での運転は人体に有害で危険です。	 <ul style="list-style-type: none"> ● 給油時エンジン停止 ● 火災の危険があり、給油口に火を近づけないこと

KW56256AA

⚠ 注意
カバーの取り付け、取り外しは、必ずエンジンを停止して行うこと。

8MA 0518 000

3 各部の名称とはたらき



① 走行クラッチレバー

走行クラッチレバーを左手でゆっくり握るとクラッチが【入】ります。クラッチを【切】る時は、走行クラッチレバーとクラッチストッパーの両方を一緒に握って同時に放すとクラッチが【切】れます。

② 刈取クラッチレバー

刈取クラッチレバーを握ると【入】り、ハンマーローターが回転します。手を離すと【停止】します。

③ 変速レバー

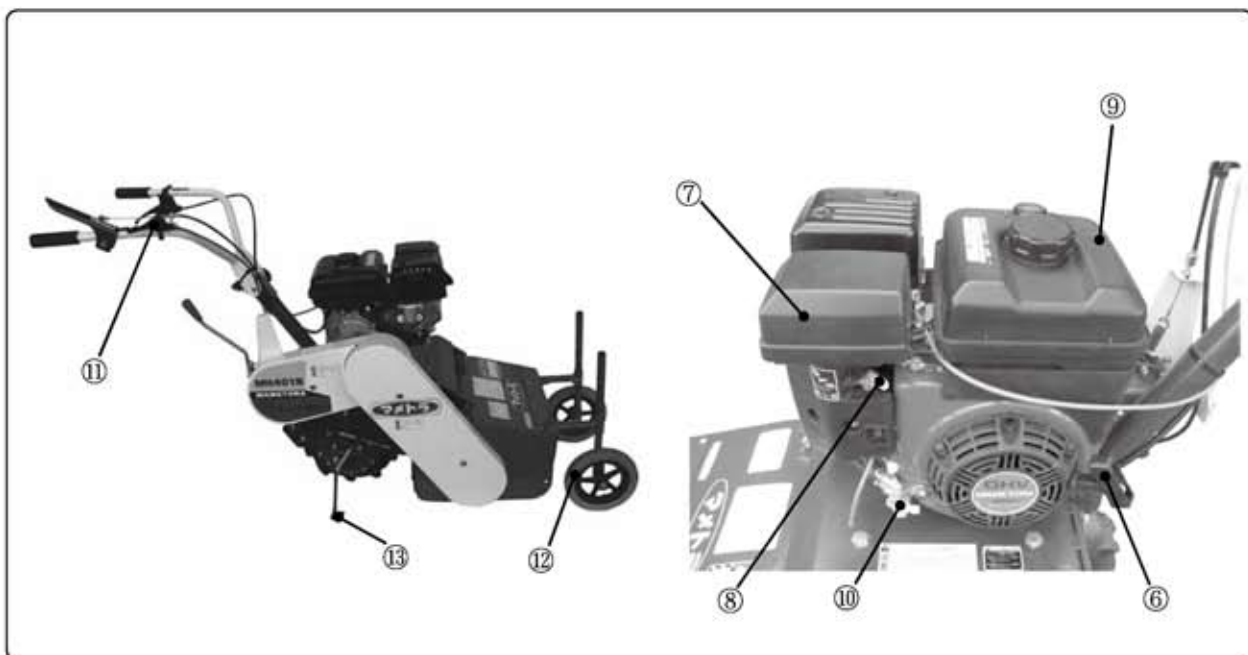
走行速度を変速するのに使用します。前進2段、後進1段です。

④ ハンドル上下調節ノブ

ノブを緩めて、ハンドルの上下の高さを調節します。

⑤ 停止スイッチ

エンジン始動は【ON】、停止は【OFF】にしてください。



⑥ リコイルスタータ

エンジンの始動に使用します。

⑦ エアクリーナ

ごみ、ほこりを取り除きます。

⑧ チョークレバー

エンジンの始動に使用します。

⑨ 燃料タンク

燃料は自動車用無鉛ガソリンを使用してください。

⑩ 燃料コック

燃料の開閉に使用します。

⑪ スロットルレバー

エンジンの回転を上げたり下げたりします。

⑫ 前輪

ピンの位置を変える事で刈高さの調節が出来ます。また、車輪を内側に取り付けることで幅を狭くすることも出来ます。

⑬ スタンド

本機が倒れないように支えます。

4 運転開始前の準備と注意

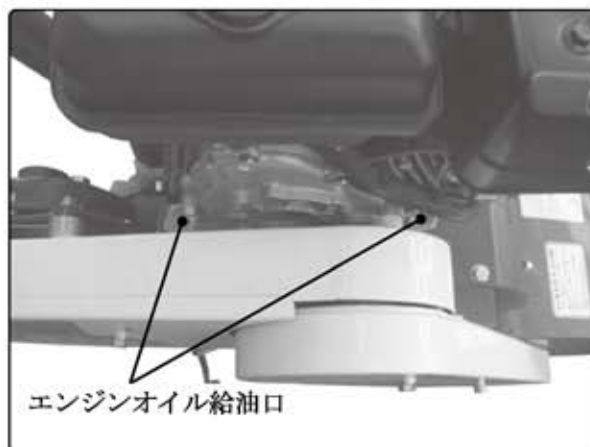
警告

- ★ 点検・整備を行う時は、必ずエンジンは停止してください。
- ★ エンジンが熱い間は、注油・給油は絶対にしないでください。
- ★ 燃料を補給する時は、火気を絶対に近づけないでください。
- ★ 取外したカバー類は、必ず取付けてください。

次の順番で点検と処置を行って快適で安全な作業を行いましょう。

- ① ミッションオイルの確認
工場より出荷時には、ミッションオイルは入れてありますが、ミッションオイル給油口より、もう一度ご確認ください。
- ② エンジンオイル(ガソリン用オイル)、ミッションオイル(90番)を規定量まで補給してください。
- ③ 燃料の補給
燃料タンクに必要な燃料を入れて、燃料がエンジンまで円滑に流れていることを確かめてください。

 火気厳禁

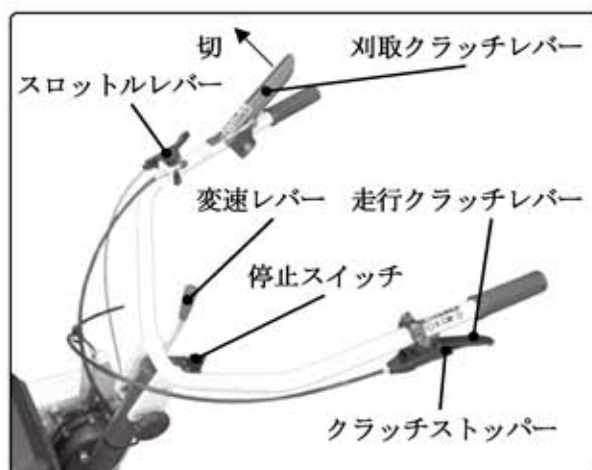


- ④ 汚れがひどいときには、エレメントを白灯油で洗浄しエンジンオイルに浸し滴下しない程度に絞ってください。

▲火気厳禁

- ⑤ すべてのワイヤーやレバー等の支点や摺動部回転部に注油をして、円滑に作動するようにしてください。

- ⑥ 走行クラッチレバー、クラッチストッパー、変速レバー、刈取クラッチレバー、スロットルレバー等が正しく作動するか確認してください。



4 運転開始前の準備と注意

⑦ エンジンの締付ボルト、ハンドルの取付ボルト等重要なボルトは増締めしてください。ボルト、ナットの脱落の有無を点検してください。

⑧ ハンマーナイフ（刈取刃）と取付ボルトは、入念に点検し、増締めしてください。ハンマーナイフ（刈取刃）が、損傷、破損しているものがあれば、新しいものと交換してください。1本でも破損しているものがあれば、異常な振動が発生して危険です。

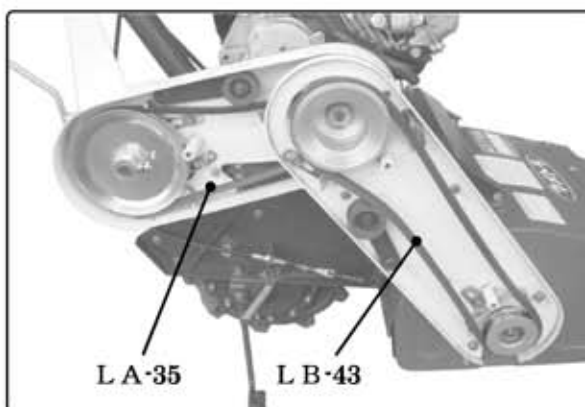
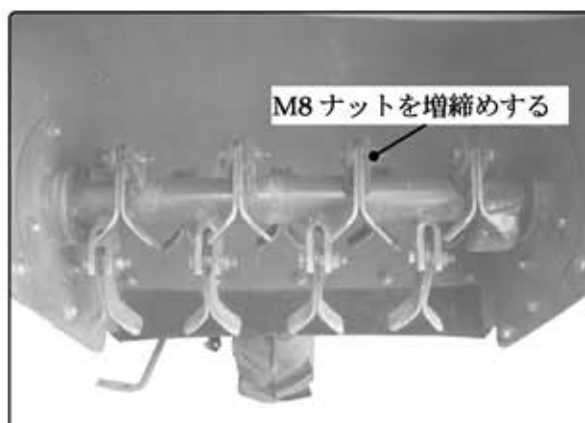
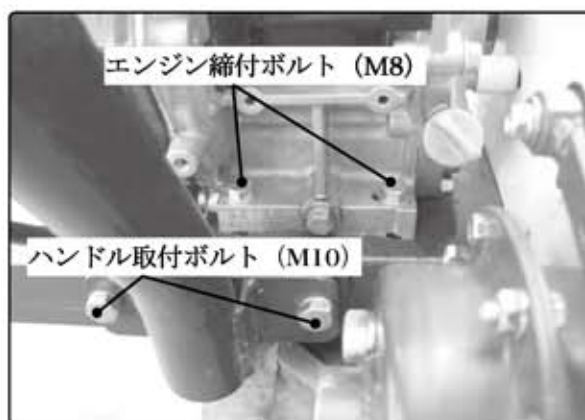


警告

★ その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⑨ ハンマーローター駆動ベルトの磨耗や損傷並びに緩みがあれば、調節や交換をしてください。

⑩ ハンドルを作業者の背丈及び圃場の状態に合わせて、ハンドル上下ノブを緩め、最も操作しやすい位置に調整してください。



5 さあ、運転開始です

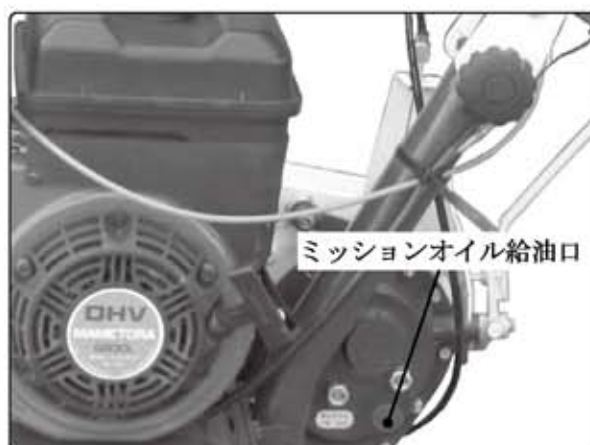
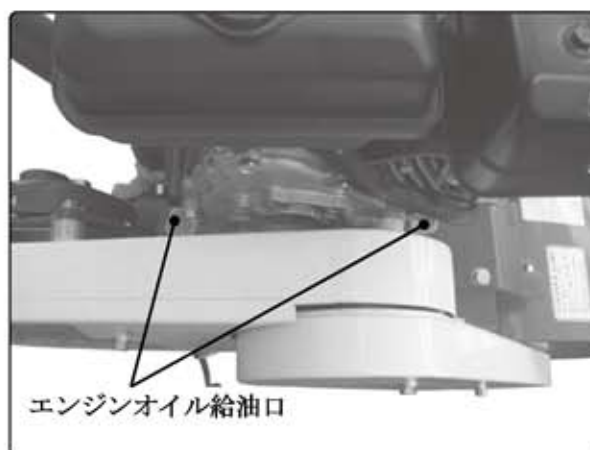
警告

- ★ 周囲の安全を確かめて発進してください。
- ★ 坂道や凸凹、カーブの多い圃場では高速運転はしないでください。
- ★ 傾斜地では変速しないでください。
- ★ 機械の前方、側方には人等を近づけないようにしてください。
- ★ 運転中はエンジンの高圧線や点火プラグキャップ部に触れると電気ショックを受ける危険があります。

■5-1エンジンの始動のしかた

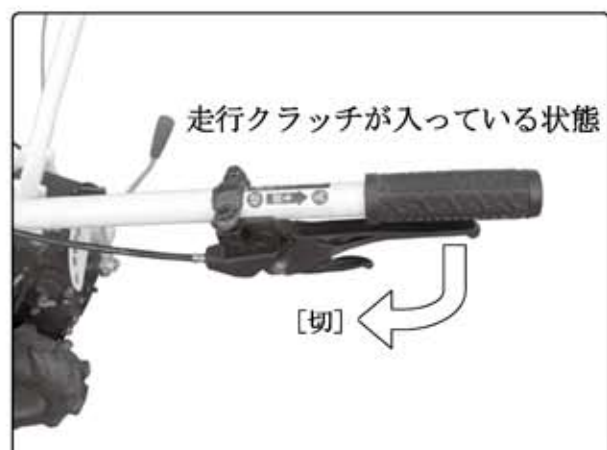
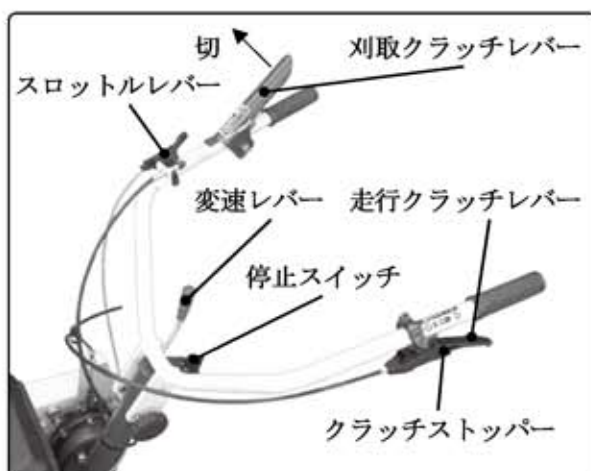
① 始動の前に、エンジンオイル、ミッションオイルの油量を確かめてください。

- エンジンオイル
SAE10W # 30 …… 0.5 ℓ
- ミッションオイル
SAE #90 …… 0.8 ℓ



5 さあ、運転開始です

- ② 走行クラッチレバー・刈取クラッチレバーは[切]位置にしてください。(走行クラッチレバーは、クラッチストッパーと一緒に握って同時に離すとクラッチが切れます)



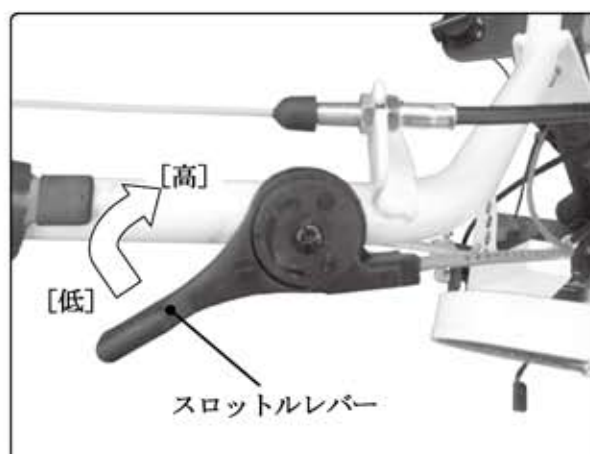
③ 燃料コックを開いてください。

④ チョークを閉じてください。夏期間やエンジンが暖かいときは、チョークを作動させる必要はありません。

⑤ スロットルレバーを[高(H)]の方に少し開いてください。

⑥ リコイルスタータを圧縮のあるところまで軽く引き、一旦戻してから勢いよく引っ張り、エンジンが始動したらチョークを徐々に元の位置に戻します。リコイルスタータを1~2回操作しても始動しないとき、そのまま何回も引っ張っていると、燃料の吸いすぎとなり、始動が更に困難となりますので、チョークを元の位置に戻して、リコイルスタータを引っ張ってください。

⑦ エンジンが始動したら、負荷を掛けずにエンジンを掛けたまま、5分内外暖機運転をしてください。



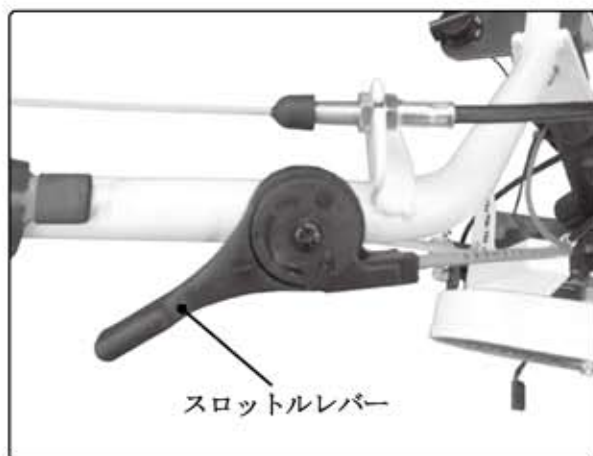
5 さあ、運転開始です

■5-2発進のしかた

警告

- ★ 発進するときは、他の人を本機に近づけてはなりません。
- ★ 本機のまわりに物を置かないでください。

- ① スロットルレバーでエンジンの回転を少し上げて、変速レバーを希望の速度にしてください。
- ② 変速レバーを[1・2]位置にして走行クラッチレバーを徐々に握るとゆっくり発進します。



■5-3変速のしかた

- ① 走行クラッチレバーを[切]位置にしてください。
- ② 変速レバーを操作して、希望の速度にしてください。変速レバーが入りにくいときには、ギヤの噛合いの位置が悪いためですから、無理に入れずに走行クラッチを半クラッチの状態にしてください。無理に入れようとすると、故障の原因となります。
- ③ 走行クラッチレバーを徐々に握り、ゆっくり発進します。



5 さあ、運転開始です

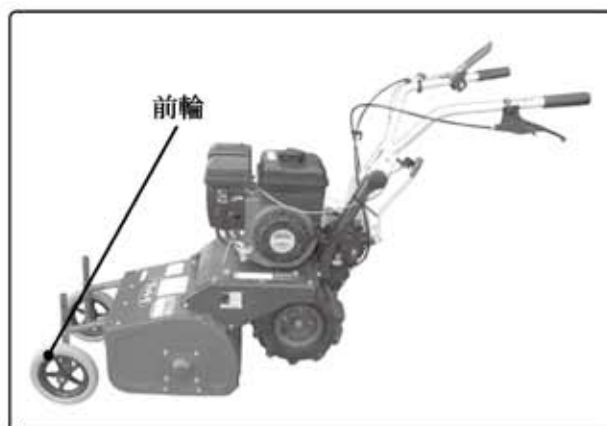
■5-4発進のしかた



警告

★ 前方によく注意して、ハンマーローターに人や物が巻き込まれないようにしてください。

- ① 旋回する場合は、前輪を持ち上げるようにすると旋回しやすくなります。

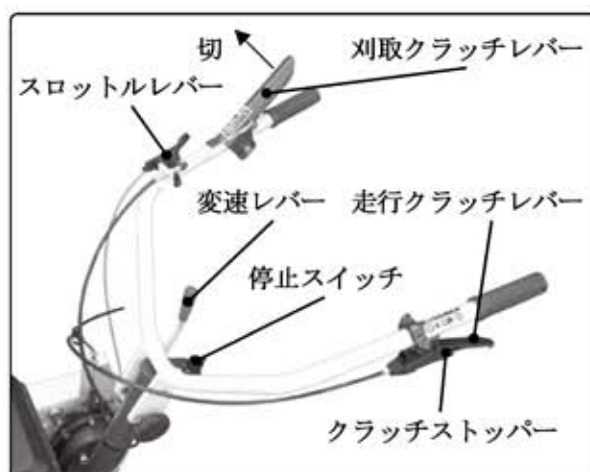


■5-5 駐・停車のしかた

警告

- ★ 機体から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
- ★ エンジンを2速(負荷運転)から急に停止させないでください。エンジン焼き付きをおこすことがあります。必ず1速にして1~2分間冷機運動を行ってください。

- ① 走行クラッチレバーを[切]位置にしてください。
- ② 刈取クラッチレバーを[切]位置にしてください。
- ③ スロットルレバーを[低]位置にしてください。
- ④ 停止スイッチを[OFF]位置にしてください。
- ⑤ 坂道や傾斜地では、安全のために車止めを車輪の前後に置いてください。



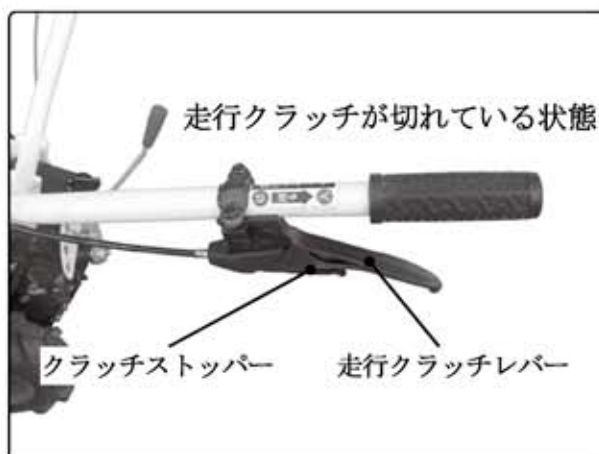
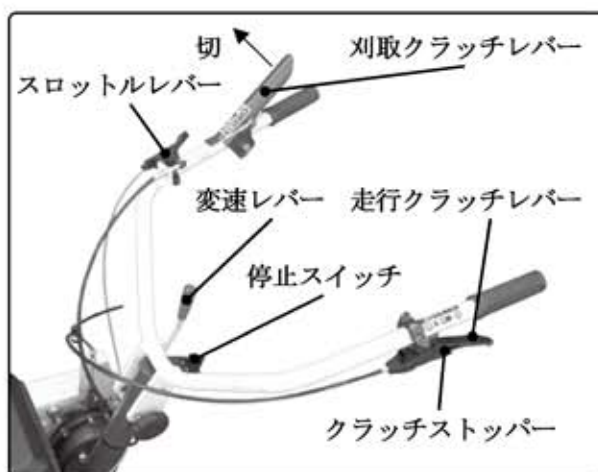
5 さあ、運転開始です

■5-6トラック等への積み込みと積み降ろしのしかた

警告

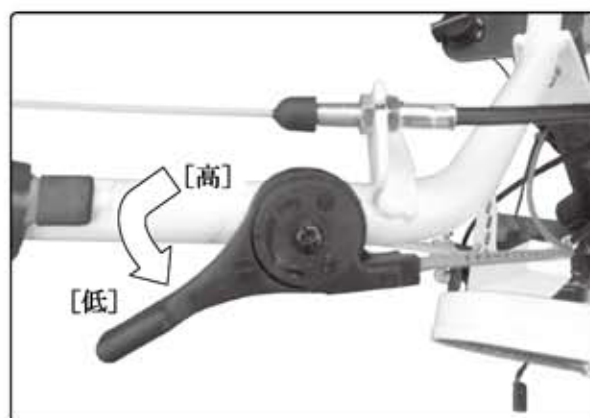
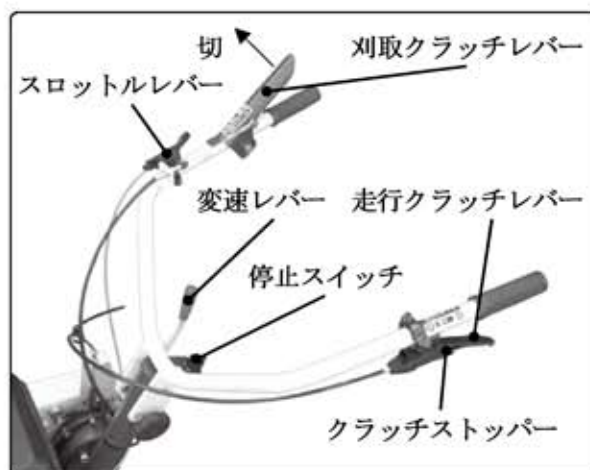
- ★ あゆみ板の上では絶対に走行クラッチレバー、刈取クラッチレバー、変速レバーを操作しないでください。転倒、転落の恐れがあります。
- ★ 積み込みは前進、積み降ろしは後進で行ってください。

- ① 平坦で安全な場所を選び、トラックは動かないようにエンジンを止めて、ギヤを入れてサイドブレーキを引き、車止めをしてください。
- ② あゆみ板(ブリッジ)は、車輪の幅よりも広く、丈夫で長い板を使用し、ゆるい勾配にして、荷台に確実に固定してください。
- ③ 刈取クラッチレバーを[切]位置にしてください。
- ④ 変速レバーを[1]位置にしてください。
- ⑤ 積み込みのときはエンジン回転をしばらく、ゆっくり前進で積み込んでください。
- ⑥ ロープを掛けるときは十分強度のあるロープを使用し、確実に機械を固定してください。
- ⑦ 積み下ろしのときは後進[R]でゆっくり積み下ろししてください。



■5-7のエンジンの停止のしかた

- ① 走行クラッチレバーを[切]位置にします
- ② スロットルレバーを[低]位置に戻し、1~2分間運転します。
- ③ 停止スイッチを[OFF]位置にしてください。エンジンが停止します。
- ④ 燃料コックを[閉]位置にしてください。



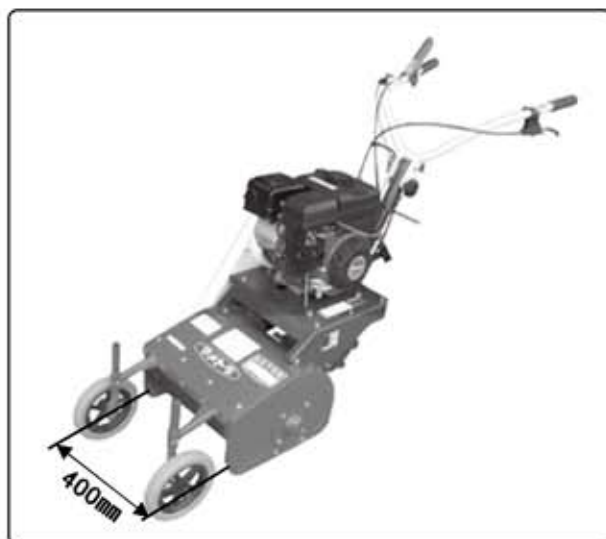
6 ハンマーローター

⚠ 危険

- ★ 機体の振動は、主としてハンマーローターに原因があります。
- ★ ハンマーローターを点検するときは、必ずエンジンを停止してください。
- ★ ハンマーローターが回転しているときは、ハンマーローターの前方には絶対に立ったり近づいたりしないでください。
- ★ ハンマーローター及びカバー等の調節を行うときは、必ずエンジンを停止させてください。

■6-1ハンマーローターの構成

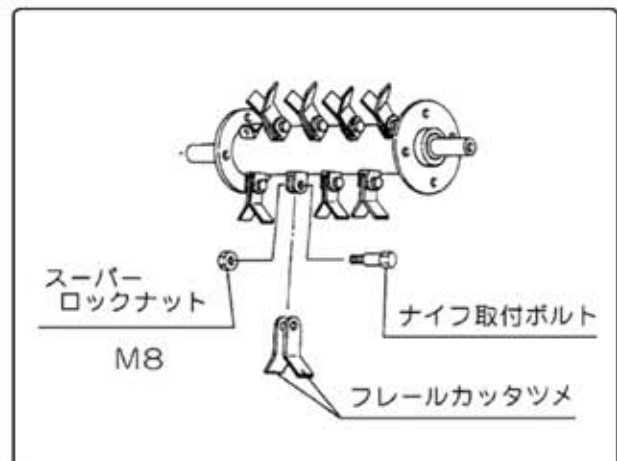
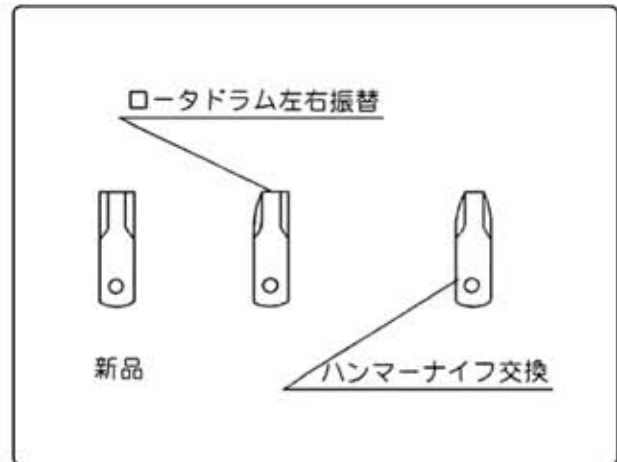
- ① ハンマーローターは、一般にはフレールモアと呼ばれる形式の草刈機です。
- ② 回転ドラムの周囲には、ハンマーナイフが取付ボルトにより、回動自由に取付けられています。
- ③ 刈刃幅は 400 mm となっています。
- ④ ハンマーナイフの回転径は約 24 cm で、回転数は約 2750rpm、すなわち回転速度は約 34m/s と高速回転で回っています。
- ⑤ ハンマーナイフは厳選された特殊鋼材を使用していますが、雑草の草取では圃場の土と一緒に刈取ることが多いので、消耗が激しい部品です。石などが多い圃場で使用する場合は、早く消耗することがあるので、出来るだけ土や石を削ることがないように、刈高さの調節をしてください。



⑥ ハンマーナイフが磨耗すると、切れ味が低下すると同時に余計な動力が必要になりますし、作業能率も低下しますので、早めにドラムの左右振替又は、新しいハンマーナイフに交換してください。

⑦ ハンマーナイフが1本でも折損や、紛失しますと、回転バランスが崩れ、重大な故障の原因となります。

⑧ 作業中に機体の振動や横揺れを感じたら、ただちに作業を中止し、エンジンを停止して、ハンマーローターの回転が停止したのを確認して、ハンマーローターを点検してください。



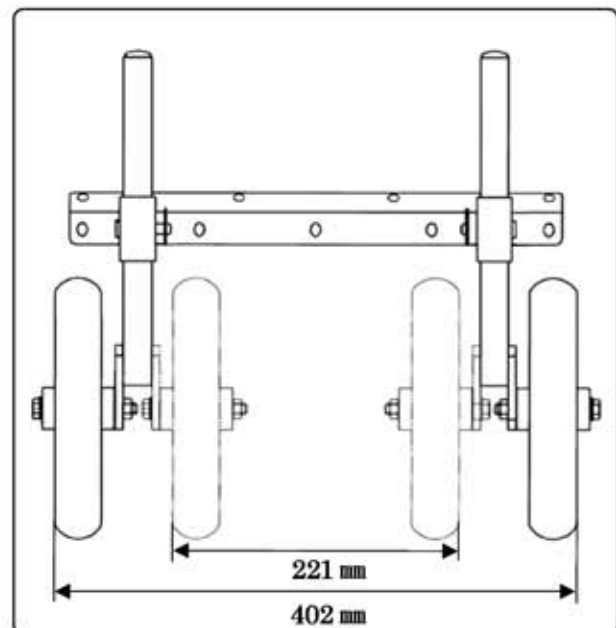
6 ハンマーローター

■6-2ハンマーローターの始動のしかた

⚠危険

- ★ ハンマーローターは、高速で、アップカット方向に回転していますので、刈り取った草や石等が前方に、遠くまで飛ぶことがあります。前方に人がいないことを確かめてから始動してください。
- ★ 作業中は回転部に触れないでください。

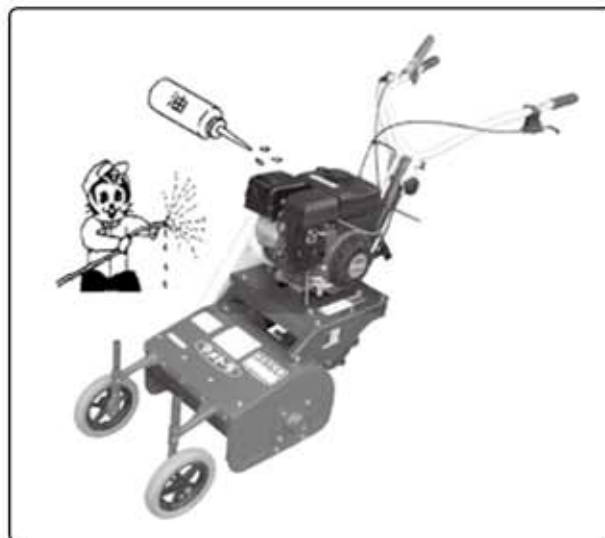
- ① 前輪アームの車軸ピンを抜いて、ナイフが土を削らない高さにしてください。地上2~6cmが一般的な刈高さです。また、前輪を内側にすることで、前輪の幅を狭くすることができます。
- ② エンジンを中速程度にして、徐々に刈取クラッチレバーを握り[入]位置にしてください。
- ③ ハンマーローターに異常な音や振動が無いのを確かめてください。異常があれば直ちにエンジンを停止して、ハンマーローターを点検し、異常の原因を取り除いてください。
- ④ ハンマーローターが異常なく回転していることを確認したら、エンジンの回転を次第に高速にして、規定の回転数まで上げてください。



7 作業が終わったら、必ず手入れを

■7-1作業をしたらそのたびに手入れを

- ① その日の内に水洗いをしてください。水洗い後は良く水分を拭き取ってください。エンジンは水洗いをしないでください。(エアクリーナ注水禁止)
- ② ワイヤー、レバー等の回転、摺動部に注油してください。



■7-2定期点検と整備



注意

★ 定期点検を怠ると機械が故障したり、安全性を損ないます。

一般的な使用条件の下での、点検・整備の項目とその時期

点検・整備の項目	点検・整備時間				
	毎運転前	25 時間	50 時間	100 時間	随 時
●エンジンオイルの点検・補給	○				
●エンジンオイルの交換		○初回のみ	○		
●ミッションオイルの交換			○初回のみ	○	
●エアクリーナの清掃	○				
●ストレーナの清掃			○		
●点火プラグの点火・清掃			●		○
●レバー類の作動の点検	○				
●ベルトの点検と調整		●			○
●作動部への注油等	○				
●ボルト、ナットの点検	○				
●ハンマーナイフの点検と交換	○				●

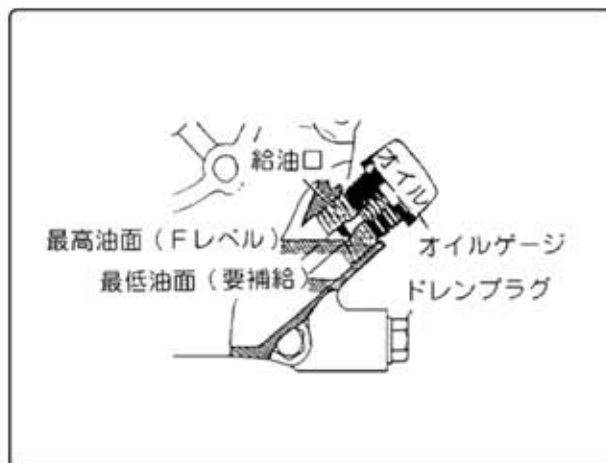
注:●印は1回目の交換時間の目安です。

高度な技術や工具等が必要ですので販売店に依頼してください。

7 作業が終わったら、必ず手入れを

(1) エンジンオイルの点検・補給

- ① オイルゲージを取外してください。
- ② きれいな布でゲージに付いている油を拭き取り、もう一度給油口に差込み油の量を確認してください。オイルゲージをネジ込まずに点検してください。
- ③ 油の量が不足していたら、給油口から規定のエンジンオイルを静かに注入してください。



(2) エンジンオイルの交換

⚠ 注意

- ★ 排出するエンジンオイルで火傷しないように注意してください。
- ★ 必ず規定のエンジンオイルを使用してください。
- ★ 初回は、少なくとも25時間機械を使用したら、オイル交換をしてください。

◎ 使用オイル

SC級、SD級、SE級の良質の新しいオイルを使用してください。

夏期間～SAE-30、SAE-10W-30、SAE-10W-40

冬期間～SAE-20、SAE-10W-30

◎ オイル交換の量

エンジン型式	本機型式	オイル量
GB130 LN-405	MH401B	0.5 ℓ

◎ 交換のしかた

- ① エンジンクランク室の給油口のオイルゲージを外してください。
- ② ドレンプラグを外して、汚れたオイルを流し出してください。
(エンジンが温かいうちに拭き取ると作業が容易に出来ます)
- ③ 汚れたオイルが完全に無くなったなら、ドレンプラグを確実に締付けてください。
- ④ エンジンを水平にしてください。
- ⑤ エンジンオイルを給油口から、ゆっくりと流し込んでください。
- ⑥ とまどき給油口に、オイルゲージをねじ込まずに差し込んで、オイルの量を確認してください。オイルゲージのFレベル(正規上面レベル)までオイルを注入してください。
- ⑦ オイルゲージを確実に締付けてください。

(3) ミッションオイルの交換

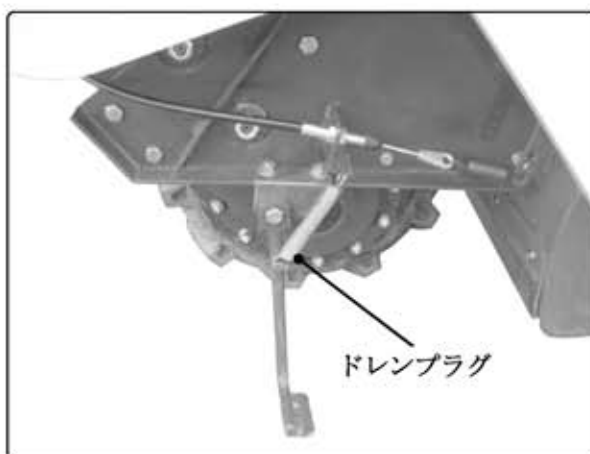
⚠ 注意

- ★ 必ず規定の良質ギヤオイルを使用してください。
- ★ 初回は少なくとも 50 時間機械を使用したら、オイルを交換してください。2 回目以降は 1 年に 1 回または、100 時間毎にオイルを交換してください。

◎ オイル交換の量

ミッションオイルSAE90 番 0.8 ℓ

- ① トランスミッションの給油口の注油栓を外してください。
- ② 排油口のドレンプラグを外して、汚れたオイルを流し出してください。
- ③ 汚れたオイルが完全に無くなったら、ドレンプラグを確実に締付けてください。
- ④ 給油口からミッションオイルSAE90 番をゆっくりと流し込んでください。
- ⑤ 注油栓を確実に挿入してください。



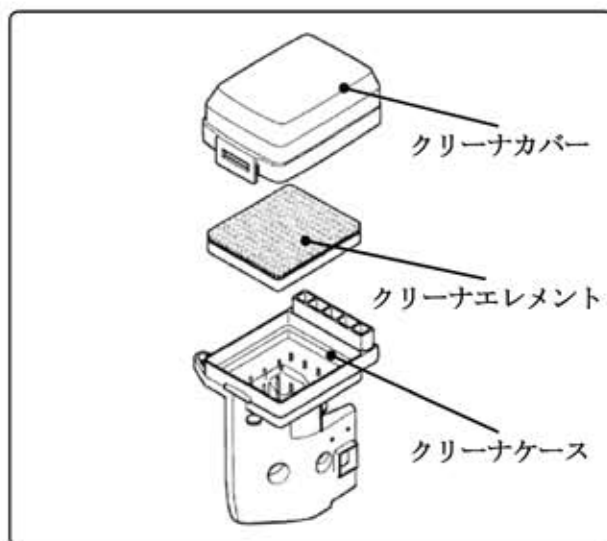
7 作業が終わったら、必ず手入れを

(4) エアクリーナーの手入れ

⚠ 注意

- ★ エアクリーナーエレメントが汚れていたり、オイル分が少なくありませんか。
- ★ エレメントが汚れたまま使用すると、エンジンの出力低下や故障の原因になります。

- ① カバーを外し、エレメントを点検してください。
- ② 汚れがひどいときにはエレメントを、白灯油で洗浄しエンジンオイルに浸し滴下しない程度に絞ってください。

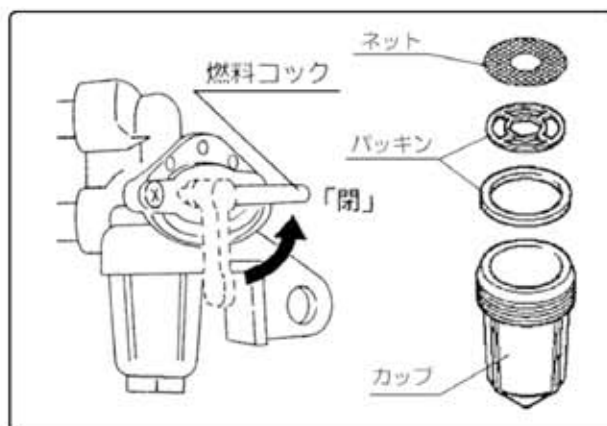


(5) ストレーナーの手入れ

⚠ 注意

- ★ ストレーナーに水やゴミが異常に多いときは、新しい燃料に交換してください。

- ① 燃料コックを【閉】にしてください。
- ② ストレーナカップを取外して、底に沈殿しているゴミや水を拭き取ってください。
- ③ ストレーナカップとネットを洗浄してください。



(6) 点火プラグの調整と交換

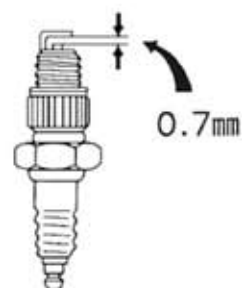
⚠ 注意

- ★ 点火プラグの火花間隔は 0.7 mm が適正です。
- ★ 高度な技術や工具等が必要ですので、販売店に依頼してください。

① エンジンの調子が悪いときには、点火プラグに原因があることもあります。プラグを取り外し、電極に付着のカーボンを取り除き、紙ヤスリで磨いて電極スキマを調整します。

② 調整が終わったら点火プラグを元の位置にねじ込み、プラグキャップを確実に差し込んでください。

メーカー名	NGK	デンソー	チャンピオン
品番	BP6HS	W20FP	L66Y



7 作業が終わったら、必ず手入れを

(7)レバー類の作動の点検と調整

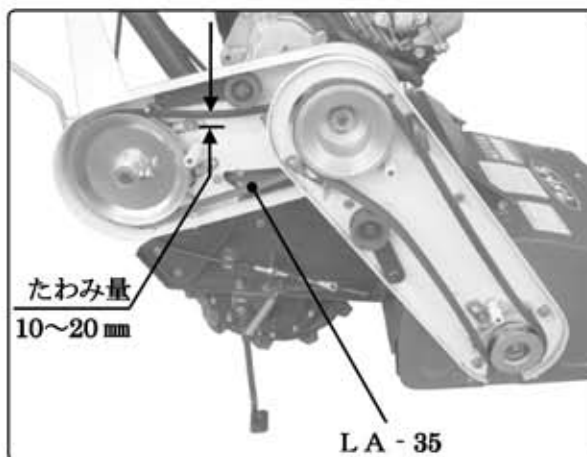
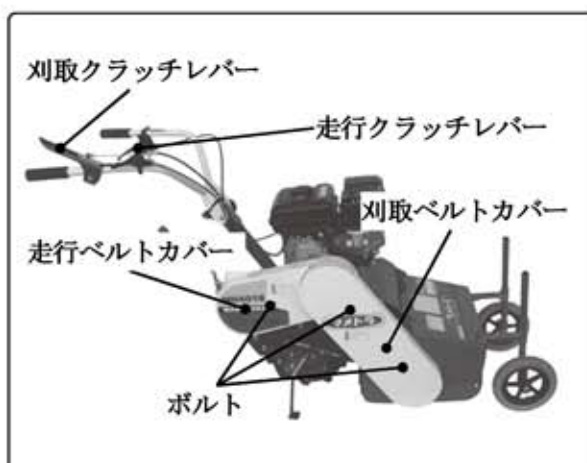
⚠ 注意

- ★ レバー類を調整したら、必ずこれらが確実に作動するかを確認してください。
- ★ 点検・調整のために取外したカバー類、ボルト、ナット類は必ず元の位置に取付けてください。

(7-1) 走行クラッチレバーの調整

ハンドルの左側にある走行クラッチレバーを握るとクラッチが入り、クラッチストッパーと一緒に握って同時に離すとクラッチが切れます。この作動が円滑に行えるように調整してください。

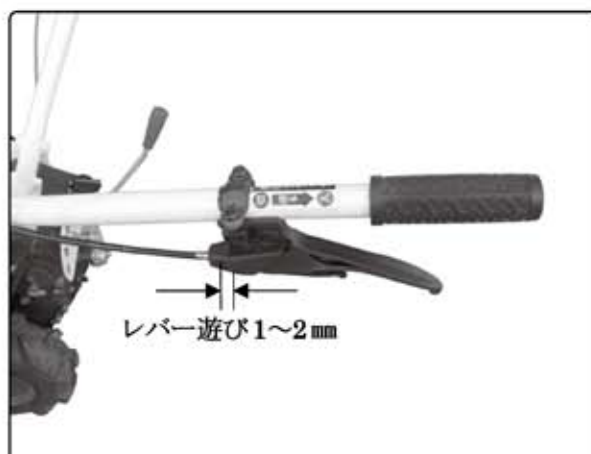
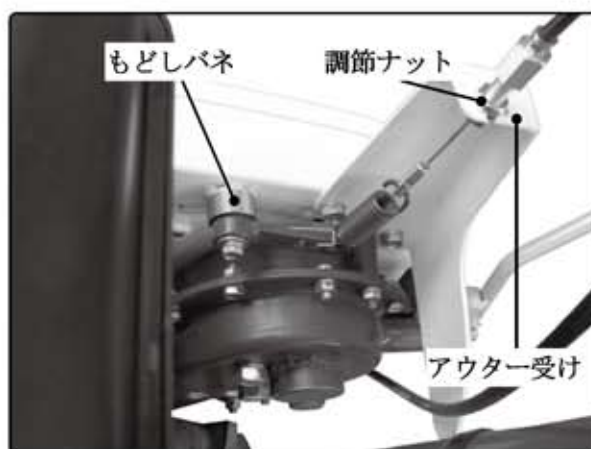
- ① 機体右側のボルトを外し、走行ベルトカバーを取外してください。
- ② 走行クラッチレバーを握り【入】の位置にしてください
- ③ ベルトの中央を指で軽く押さえて、ベルトのたわみ量が 10~20 mm になっているか確認します。



④ ベルトの張りが適切でないときは、走行クラッチワイヤーの調節ナットを緩め、ワイヤーの調節を行ってください。

⑤ 走行クラッチレバーの支点のところで1~2mmの遊びがあるように調節してください。

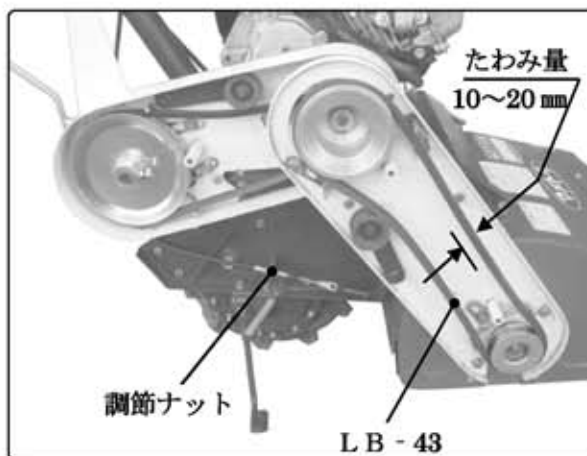
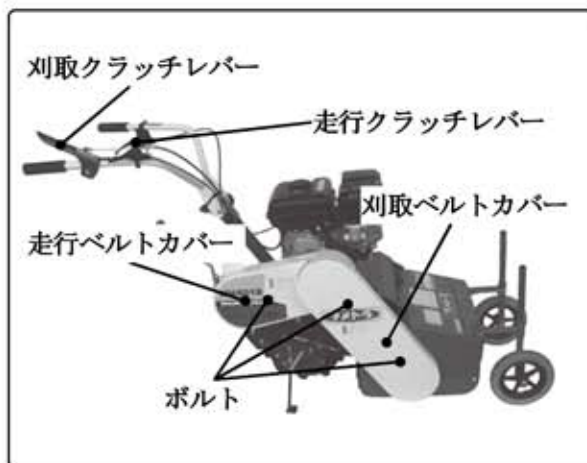
⑥ ベルトの磨耗が著しいときや破損しているときは、ベルトを交換してください。エンジンと車軸の間のベルトはLA-35を使用します。調整が終了したら、必ずベルトカバーを取付けてください。



7 作業が終わったら、必ず手入れを

(7-2)刈取クラッチレバーの調整

- ① 機体右側のボルトを外し、刈取ベルトカバーを取り外してください。
- ② 刈取クラッチレバーを握り【入】の位置にしてください
- ③ ベルトの中央を指で軽く押さえて、ベルトのたわみ量が 10~20 mm になっているか確認します。
- ④ ベルトの張りが適切でないときは、刈取クラッチワイヤーの調節ナットを緩め、ワイヤーの調節を行ってください。
- ⑤ ベルトの磨耗が著しいときや破損しているときは、ベルトを交換してください。エンジンとローター軸の間のベルトはLB-43 を使用します。調整が終了したら、必ずベルトカバーを取付けてください。



(7-3) ハンドルの高さ調整

- ① ハンドル上下調節ノブを緩め、ハンドルの高さを調整します。
- ② 調整が終わったら、ハンドル上下調節ノブを確実に締めてください。



(8) 冷却風吸気口の掃除

⚠ 注意

★ 吸気口をきれいに掃除しないと、エンジンの過熱や出力低下などを起こします。

- ① リコイルスタータ部の吸気口は、エンジンの冷却風を吸い込む所です。ゴミが付着しているときは、きれいに掃除してください。



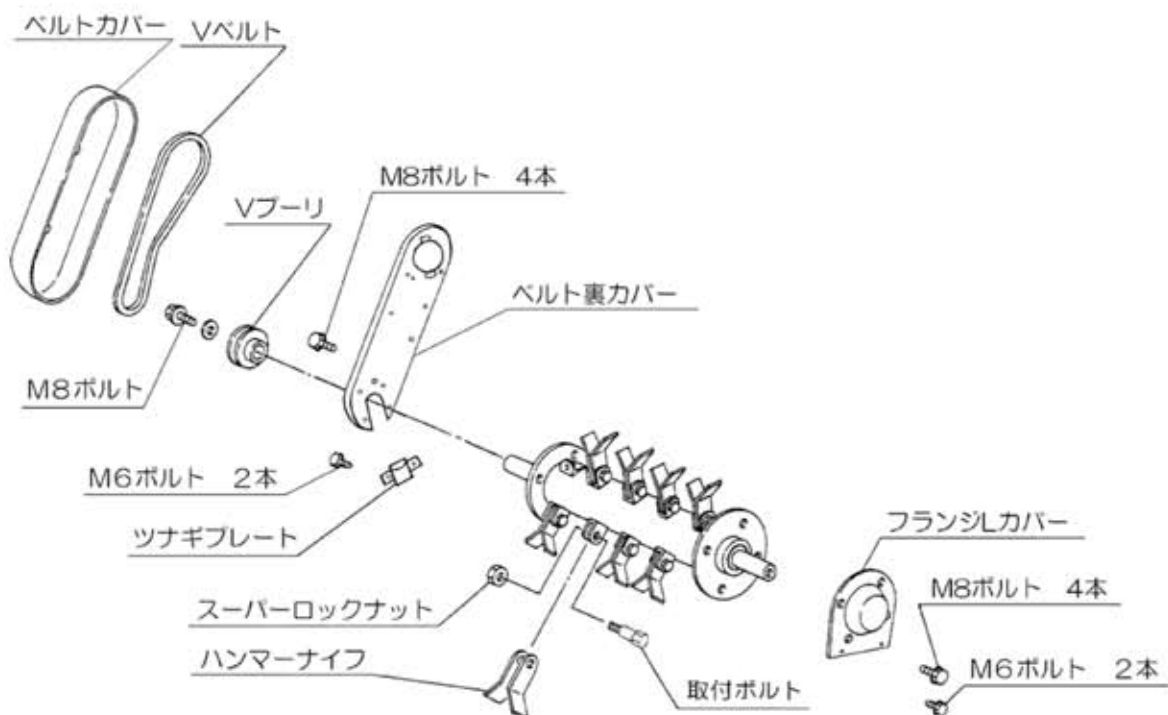
7 作業が終わったら、必ず手入れを

(9)ハンマーナイフの交換

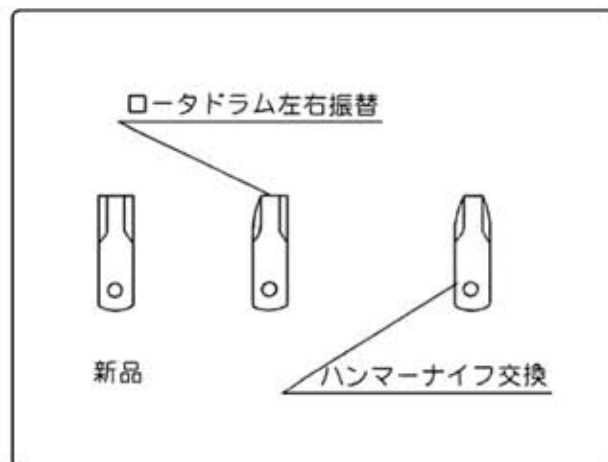
⚠ 注意

- ★ ハンマーナイフが1本でも折損したり、紛失しますと、ハンマーローターの動バランスが崩れ、重大な故障の原因になります。
- ★ ハンマーローターの調整やナイフの交換を行うときは、必ずエンジンを停止してください。

- ① ハンマーナイフは両刃形式となっていますので、片面のナイフの切味が低下したら、ベルトカバーを取外し、ハンマーローターの駆動ベルトおよびプーリーを取外してください。
- ② フランジ固定ボルトを取外してください。
(M8ボルト左右各4本、M6ボルト2本)
ツナギプレートを取外してください。
(M6ボルト2本)
- ③ ロータードラムを左右振替にして、組立直してください
- ④ ハンマーナイフが破損したり、ナイフが摩滅したときは、ナイフホルダーのスーパーロックナットと取付ボルトを取外し古いナイフを取外してください。
- ⑤ 新品のナイフをホルダーに取付け、新しい取付ボルトとスーパーロックナットで、ナイフが軽く動くように締め付けてください。

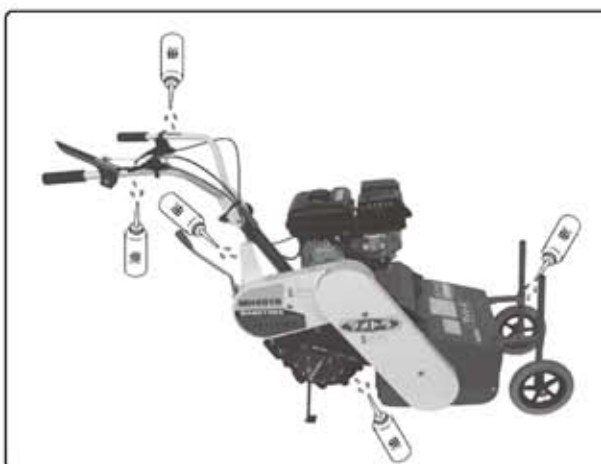


★ ハンマーナイフ・取付ボルト・スーパーロックナット
セット交換



(10) 注油とグリースアップ

- ① レバー類、軸受け部、開閉カバーのリンク部分等の作動部には、油差して注油してください。
- ② 全てのワイヤーは、ワイヤーを作動させながら注油をしてください。



8 長時間使用しないときの格納のしかた

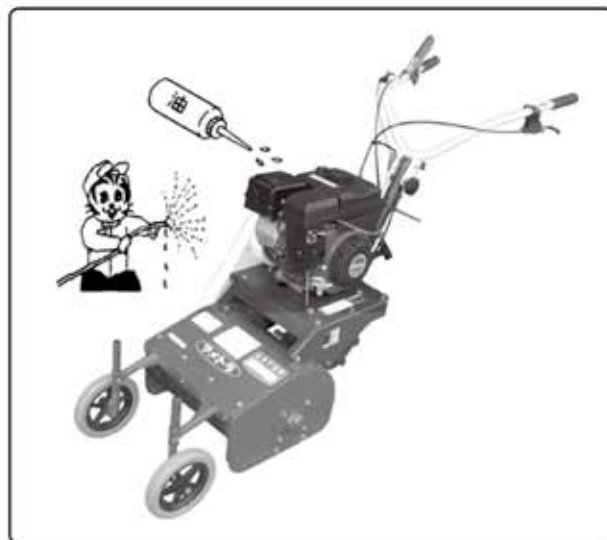


警告

- ★ 燃料を抜くときは、火気は厳禁です。風通しのよい所で作業してください。抜き取ったガソリンは安全な所に保管してください。

(1) 清掃、洗浄、注油

- ① 車輪やハンマーローター等に付着した泥、ゴミ、屑等はよく落とし、水洗いをし、水洗後は水分をよく拭き取り乾燥してください。
- ② 回転部、摺動部にはたっぷりとオイルを差し、グリースアップをしてください。



(2) クラッチレバー等

- ① 走行クラッチレバー、刈取クラッチレバーは[切]にして、ペルトやパネに無理な力が加わらないようにしてください。

(3) オイル交換

- ① オイル交換の時期になっているときは、定期点検の手順に従ってオイルの交換をしてください。

(4) 燃料の抜き取り

- ① エンジンを30日以上使わないときは、燃料変質による始動不良等を防止するために、燃料タンク内のガソリンはポンプなどを使用して抜き取り、気化器内は燃料ドレンノブを引いて、ストレーナカップは外して全部抜き取ってください。



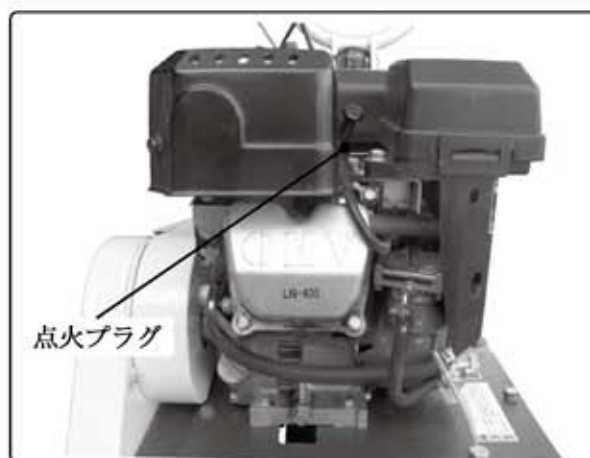
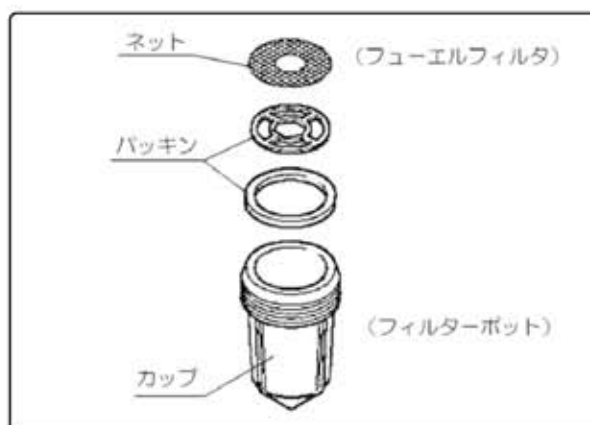
警告

- ★ 燃料の取扱いには十分注意してください。
- ★ 火気厳禁

- ② 点火プラグを外して、シリンダ内にエンジンオイルを2~3cc 注入し、クランク軸を数回まわして点火プラグを取付け、圧縮のあるところで止めてから保管してください。
- ③ 外面は油の染みた布で清掃してください。

(5) 格納

- ① 車輪の下には板を敷いてください。



9 機械が不調の場合の対策



警告

- ★ エンジンの整備には、特別な工具やエンジンの専門工場でないといけないものがあります。
- ★ 使用者が整備できる項目とその対策のみ示してあります。

不具合内容	対 策 方 法
エンジンの始動不良	<ul style="list-style-type: none"> ● 燃料を確認してください。 燃料を規定量入れてください。 ● スレーナのcockを確認してください。 cockを[開]にしてください。 ● 燃料が流れているか確認してください。 燃料パイプの詰まりを調べてください。 燃料ドレンを緩めて確認してください。 ● 燃料は常に新しいものを使用してください。 古い燃料の使用は気化器内部粘着物の付着原因となります。 ● 燃料に水が混入していないかを確認してください。 スレーナに水が溜まっていれば、水抜きをしてください。 ● 点火プラグを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ①点火プラグが乾いているときは 燃料がシリンダまで流れていないので、その対策をしてください。 ②点火プラグが漏れているときは 燃料の吸いすぎですので、プラグの湿りを拭取り、チョークを[開]にして、リコイルスタータを1~2回まわして、吸い過ぎた燃料を排出してください。 エアクリーナを清掃してください。 ③点火プラグが不良な場合 新しい点火プラグと交換してください。

不具合内容	対 策 方 法
エンジンの始動不良	<ul style="list-style-type: none"> ● エアクリーナを確認してください。 目詰まりを取るように清掃してください。 ● リコイルスタータのエアの入口が詰まっていないかを確認してください。 目詰まりを取るように清掃してください。 ● エンジンオイルを確認してください。 補充、または交換してください。 ● ベルトを確認してください。 ベルトが張りすぎているので、適正な張りにしてください。
走行クラッチレバーが不調	<ul style="list-style-type: none"> ● ワイヤーを確認してください。 ワイヤーが伸びている場合が多いので、ワイヤーを調整してください。 ● ベルトを確認してください。 ベルトの張りを調整してください。
刈取クラッチレバーが不調	<ul style="list-style-type: none"> ● ワイヤーを確認してください。 ワイヤーが伸びている場合が多いので、ワイヤーを調整してください。 ● ベルトを確認してください。 ベルトの張りを調整してください。
エンジンの力が弱いとき	<ul style="list-style-type: none"> ● エアクリーナを確認してください。 目詰まりを取るように清掃してください。 ● エアクリーナを確認してください。 目詰まりを取るように清掃してください。

9 機械が不調の場合の対策

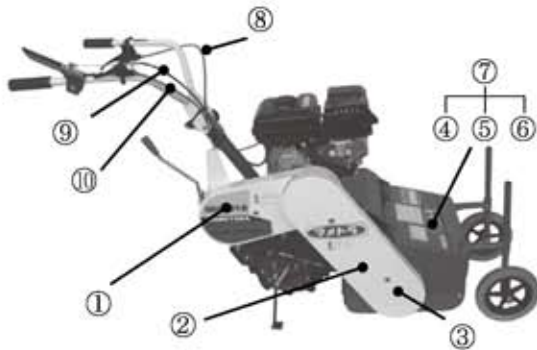
不具合内容	対 策 方 法
エンジンの始動不良	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジンオイルを確認してください。 補充または交換してください。 ● ハンマーローターのカバーの内部を確認してください。 カバーの内部を清掃して、付着している草や土を取り除いてください。 ● ハンマーローターの振動を確認してください。 ハンマーローターの破損や脱落があれば、新しいナイフと交換してください。
走行クラッチレバーが不調	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジンの振動を確認してください。 エンジンの取付ボルトを締め直してください。 ● ハンドル類の振動を確認してください。 ハンドル取付ボルトを締め直してください。

上記の対策をしてもトラブルが直らないときは、販売店にご相談ください。

10 消耗部品一覧

すべての部品は、材料を吟味し、適切なものを使用していますが、寿命がありますので、早めに部品を交換し、常に機械を最高の状態でご使用ください。品番を明記の上、ご注文ください。

(1) 本機関係



- ①Vベルト LA-35 1
9VA 0350 003
- ②Vベルト LB-43..... 1
9VB 0430 003

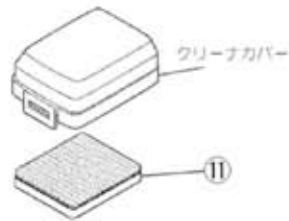
- ③ボールベアリング # 6205 2
9BB 6205 002
- ④ハンマーナイフ 24
H10 0512 000
- ⑤ナイフトリツケボルト 12
H10 0513 000
- ⑥スーパーロックナット 12
9NP 0800 083
- ⑦ハンマーナイフボルトセット(④⑤⑥) 1
H11 0522 000
- ⑧走行ワイヤー 1
H11 0632 000
- ⑨刈取ワイヤー 1
H11 0652 001
- ⑩スロットルワイヤー 1
H11 0820 000

(2) エンジン関係

- ⑩スパークプラグ
BP6HS...1
FA21273



- ⑪クリーナエレメント...1
KA01092BA004



- ⑫フューエルフィルタ...1
KF31036AA003



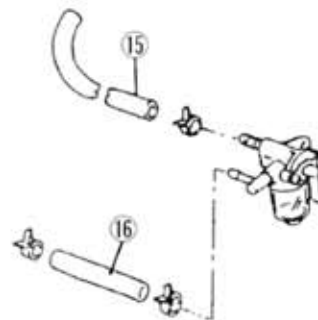
- ⑬ハンドル (スタータノブ)...1
KS20080AD010



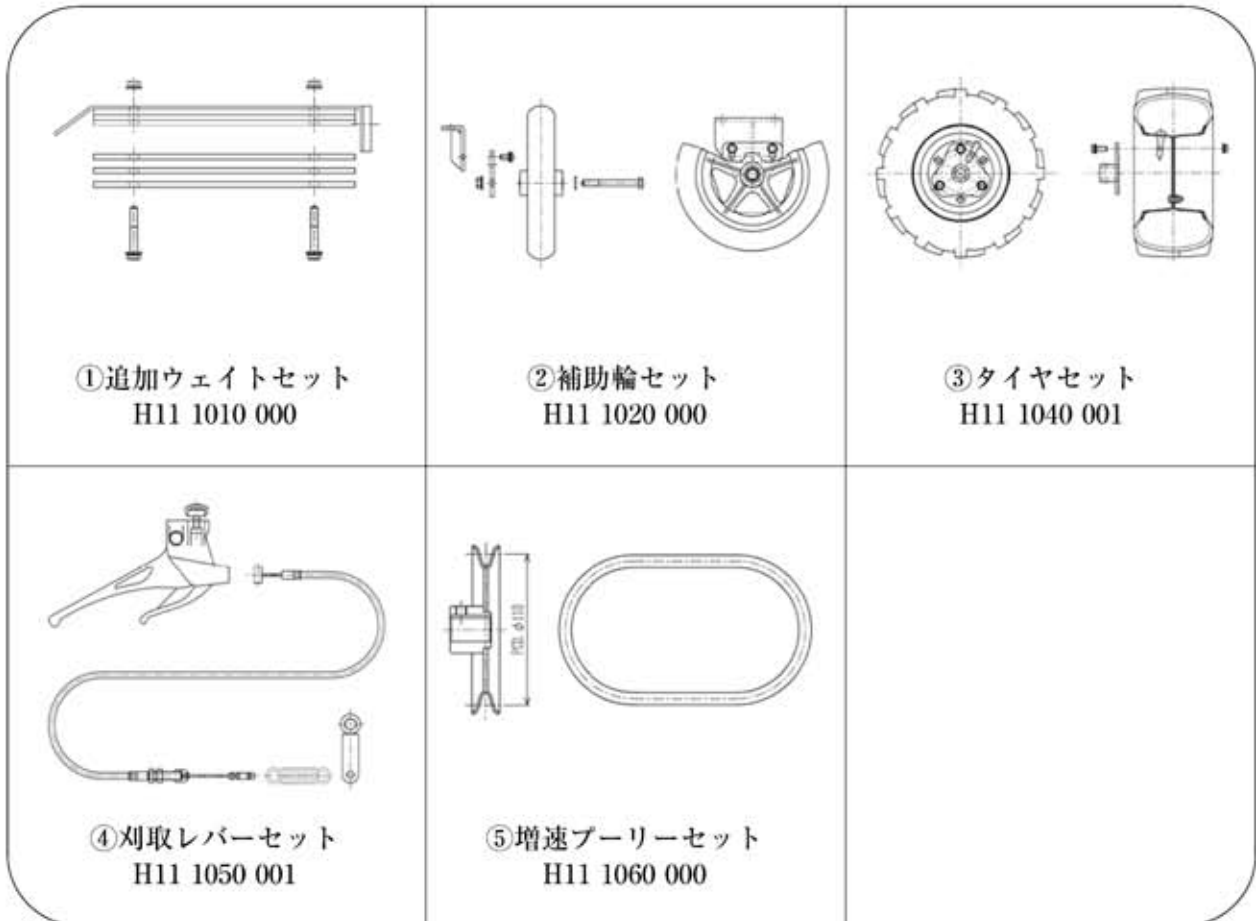
- ⑭ロープ (スタータロープ)...1
KS20080AD009

- ⑮フューエルホース (タンク~コック) ...1
P051 Y08X370

- ⑯フューエルホース (コック~キャブ) ...1
P051 Y04X160



11 オプション部品



①追加ウェイトセット	1枚約1.3kgのウェイト3枚とボルトのセットです。			
②補助輪セット	補助輪とボルト、ナットのセットです。			
③タイヤセット	幅広タイヤ 12×5.50-6 (幅 145 mm) とホイールボス、ボルト、ナットのセットです。			
④刈取レバーセット	クラッチレバー (走行クラッチレバーと同タイプ) とワイヤー、アームのセットです。(テンションヒツバリバネはセットに含まれません)			
⑤増速プーリーセット	走行プーリーとVベルト (LA-33) のセットです。			
		増速プーリー	標準プーリー	
	車速 (km/h)	前進1速	1.2	0.9
		前進2速	1.9	1.5
	後進	0.8	0.7	

12 機械の特長と仕様

■11-1本機の特長

■安定した機体

重心が低く、機体バランスが良いので安定性に優れています。女性の方でも楽々と作業が出来ます。

■らくらく操作

走行部は一輪の為狭い場所での作業が楽に出来ます。また旋回もハンドルを下げる事により、その場旋回が出来ます。

■作業者に合わせたハンドル

ハンドルの高さ調整は、ハンドル上下調整ノブにより簡単に出来ます。

■前輪間隔の調節

狭い圃場などの場合、前輪幅を調節出来ますので安定した作業が出来ます。
(内側 221 mm、外側 402 mm)

■刈高さの調節

刈高さも前輪の車軸ピンの位置で調節が出来ます
(5, 10, 20, 40, 60 mmの5段階)

■性能抜群なローター

- 刈刃の回転を高速にして刈取性能アップを計りました
- 刈高さは、前輪のピンの位置で簡単に調整が出来ます。
- ハンマーナイフは熱処理をした特殊鋼材ですから、切味、耐久性に優れています。

■11-2本機の仕様

型 式		MH401B						
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1490						
	全 幅 (mm)	560						
	全 高 (mm)	950						
	重 量 (kg)	68						
エ ン ジ ン	名 称	三菱 空冷4サイクル OHV						
	型 式	GB130LN-405						
	総 排 気 量 (cc)	126						
	最 大 出 力 (Ps[kW]/rpm)	4.2[3.1]/2,000						
	定 格 出 力 (Ps[kW]/rpm)	3.1[2.3]/1,800						
	使 用 燃 料	自動車用無鉛ガソリン						
	タンク容量 (ℓ)	2.5						
	始 動 方 式	リコイルスタータ式						
	タ イ ヤ	350-5						
車 体	クラッチ方式	ベルトテンション方式						
	舵取り方式	ツノハンドル						
	変 速 方 式	ギヤ選択方式						
	変 速 段 数	前進2段・後進1段						
	走 行 速 度 (km/h)	<table border="1"> <tr> <td>前1速</td> <td>前2速</td> <td>後速</td> </tr> <tr> <td>0.9</td> <td>1.5</td> <td>0.7</td> </tr> </table>	前1速	前2速	後速	0.9	1.5	0.7
前1速	前2速	後速						
0.9	1.5	0.7						
ハ ン マ ー ロー ター	伝 動 方 式	Vベルト方式						
	クラッチ方式	ベルトテンション方式						
	刈 幅 (mm)	400						
	ローター径 (mm)	240						
	回 転 数 (rpm)	2770						
	刈 高 さ (mm)	5, 10, 20, 40, 60						



MEMO



MEMO



マメトラ 農機株式会社

本社・工場	☎363-0017	埼玉県桶川市西2丁目9-37	☎048(771)1181(代)	FAX048(771)1529
秋田工場	☎018-0134	秋田県にかほ市象潟町西中野沢字家の下2-3	☎0184(43)4160(代)	FAX0184(43)4120
東北事業部	☎018-0134	秋田県にかほ市象潟町西中野沢字家の下2-3	☎0184(43)4121(代)	FAX0184(43)4120
山形営業所	☎994-0012	山形県天童市大字久野本3920-1	☎023(654)0681	FAX023(654)7387
福島営業所	☎960-0102	福島県福島市鎌田字一里塚1-1	☎0245(53)0885	FAX0245(53)6768
新潟営業所	☎940-1104	新潟県長岡市撰田屋町字崩2617	☎0258(23)1329	FAX0258(23)1354
長野営業所	☎388-8006	長野県長野市篠ノ井御幣川496-6	☎026(293)4888・2693	FAX026(292)0815
茨城営業所	☎310-0853	茨城県水戸市平須町新山1828	☎029(241)3751・3752	FAX029(241)3752
栃木営業所	☎322-0026	栃木県鹿沼市茂呂645-4	☎0289(76)0187	FAX0289(76)0069
群馬営業所	☎379-2105	群馬県前橋市東大室町183	☎027(268)3119	FAX027(268)3862
中部SS	☎501-6233	岐阜県羽島市竹鼻町飯柄370-1	☎058(393)0041	FAX058(391)3014
マメトラ四国機器(株)	☎790-0047	愛媛県松山市余戸町南1丁目23-18	☎089(973)2325	FAX089(971)2563

お客様メモ

購入日	平成	年	月	日
購入店名				

H11 9002 001
11413-01-0060